

CHIAKI

独立

2010 年

江見
千秋



表紙の「独り言」の書は、

「書道村」主宰の

川戸翠紫先生に書いていただきました。

野生のお猿さん

昨日（一月十日）、偶然にJR二宮駅前を通りかかったら数人の人が、ある建物の二階のベランダを見上げていた・・・

その時は「何かナクナク!?」と思っただけで通り過ぎたが、友人から猿がいるんだと聞き、カメラを持って自分も見に戻りました・・・

居ました：三階のベランダの手すりに腰かけ、こちらをちらちら見ながら毛づくろいをしていました。

最近、近くでもハクビシンを見かけることもあり、市街地にイノシシやシカなどの野生の動物が出現するとのニュースを目にすることがよくあります。



自分の生まれ故郷でも、イノシシが出現し稲作や野菜栽培を荒らし被害が続出したので、数年前に集落を金網の柵で囲む工事がされ、今では人間が檻の中に入って生活しているような有様です・・・

子供のころはこんな様子ではなかったように記憶しています・・・

なぜこうなったんだろう！？

・ 里山の手入れができなくなり、動物と人間の棲み分けが不明確になった

・ 高齢化も影響し猟をする人が少なくなった

・ 市街地においしい食べ物が多くなり、動物もその味を知った

等など理由はいろいろあるようです・・・

猿も人も同じ動物なのだから仲良く暮らしたいと思うが、やはりそれぞれが生活する領域は区別しておく必要があるように思う。

しかし、野生の動物のほとんどは、そのように考える習慣はないと思われる・・・

であれば、人が動物に教える必要があるように思われる！？

身近なところでは、ゴミの置き場所に動物の手が届かないようにするか、大きくは里山を手入れしここからは人の領分だヨ！・・・と知らしめるとか！？

しかし、どれにしても難しい！！

2010年1月22日(月)



いつの間にか終わったお正月

いつの間にかお正月が終わってしまった・・・

暮れのお餅搗きから、TVでのゆく年こる年を視ながらの年越しそば、初日の出、初詣、七草、どんど焼き・・・と、なんとなくお正月は終わった・・・

自分では、子どもの頃を思い出しながら、自分流のお正月を過ごしたが何か物足らなかった！

なぜだろう！？

子どもの頃と比べて・・・

- ・元日から商店が開き、正月飾りを除けば日頃と変わらない
- ・快晴にもかかわらず、風揚げ・羽根つき・コマ回しなどする子供たちの姿が見えない・・・など

経験してきた正月とは違っている!?

仕方ないとは思いながらも、少し寂しい思いもする。

特に子どもの遊びが変わってきたのだろうか・・・と言いながらも、子ども達とコマ回し、紙飛行機、割箸鉄砲、けん玉等をする機会があると、子ども達は嬉々として楽しんでる。

間もなく湘南二宮吾妻山葉の花ウォッチングが始まり、その催しの一つとして今年も、竹馬や紙飛行機・竹トンボなどの昔あそびの場が計画されている。

昨年子ども達だけでなくお父さん・お母さん、おじいさん・おばあさんも大いに楽しまれた・・・

やはり、子ども達も昔子どもだった人も、自分で作りそれで遊ぶことが何

よりも楽しいようです・・・
今年も大いに楽しんで、少し遅れてのお正月気分を満喫してほしいもの
です！！😄



2010年1月12日(火)

雑誌の整理に悩んでいます

なんでも知りたい年頃！？で・・・それでも日進月歩の技術革新が行われているパソコンに興味を持つる者にとって、たえず発行されている**雑誌類の整理**に悩んでいます🙄

パソコン関係だけでも、新しく発表される情報に遅れまいと月に3、4種類の雑誌を購読しています。その他にも書店で目につくとツイ買ってしまうのです・・・それ以外にも、インターネットで参考になりそうな情報は、何時か参考になるだろうとパソコンに保存しているのです。

以前は、雑誌類も後で参考になりそうなところを切り取り、ファイリングしていたのですが、それもだんだん面倒になり、また古いものは単に保

存しているだけになってきて**積読**で埃を被り、新しい雑誌も興味がある所だけ眺め、脳をかすめただけで積まれている始末です。

脳をかすめたことは思い出しても、探し出すのはこれまた一苦勞です・・・

そんなこんなで、パソコン機の周りは、何時利用されるかわからないスクラップや雑誌の山ができる始末です。

何とかしなければ！！！！！！

野次馬旺盛な方だから、これからも雑誌類にはツイ手が出るだろうし、後々見るのはほんの一部だろうから 何とか整理の方法を今年は見付けたいと思っているとこです。 賢明な皆様からヒントをいただければこの上ない幸せです。

よろしくお願いいたします！

2010 年 1 月 14 日(木)



人間ドック

過日、年に1回続いている人間ドックに行ってきました・・・

この人間ドックは、サラリーマン時代から30年近く同じ健診センターで行っているものです。

結果は画像処理健診など判断を除いたものであるが、久しぶりに精密検査の紹介状が無かった・・・

結果報告書を見ると、いろんな数値が並び 基準値から外れた項目にマークが付いている。

マークが付いている項目が数項目あるが、幸いなことにBMI（メタボの基準？）を除き、僅かなはみ出しである。したがって紹介状が無かったようだ！？

ここでチョット気になったのは・・・

- ・基準値はどのように決められたのか？

- ・どのくらい外れたら心配なのか？

- ・人間の健康は　こんな単純にデジタル的に判断できるのだろうか？

ということです。

ここで判断されるのは第一次検査であり、疑わしきは精密検査という第二次検査で・・・ということだから、余り心配することはないと思うが、あまりにもデジタル的に判断されると気になる。

まあ、太鼓判とまではいかないが、　ともあれ1年に一回の健診を受けチョット安心しているところです。　有名な音楽指揮者も人間ドックで初

期ガンが見つかり 処置されるところ・・・

自分勝手な判断でなく、

年に一度は人間ドックを受けましょう！！

2010年1月22日(金)



記憶の不思議

なぜこんなことを思いついたかも不思議だが・・・

自分が最も早い（誕生に近い）**記憶**を思い出そうと思ったのです・・・

今思い出したのは、背中に布団を当て炬燵にあたって、雑誌にでも付いていたろうキリンの切り抜きをハサミで切っている様子です！

子どもの頃病弱で 寝ていることが多くて、気分のいい時に起き上がって切っていたようだ・・・

次に浮かぶのは、部屋に付いていた電燈の赤くなったフィラメントの形である！

これはなぜかわからない・・・

後で母から聞いたことであるが、体温が高い時に ジーツと電燈を見ていたとのことで、それが**記憶**として残っているのかもしれない！？

もう一つ・・・これ以前の**記憶**も多々あるが、面白い**記憶**は・・・

これは少し大きくなってからの**記憶**であるが、真珠湾攻撃があつた時のラジオです。

真珠湾攻撃は十二月八日の冬であるが、箆笥の上にあるラジオを蚊帳の中からそのニュースを聞いたことです！？

そのラジオのダイヤルの形とランプ？の明るさが**記憶**に残っているのです。

どうも季節がちぐはぐ・・・

なぜこんな**記憶**になっているのだろう！？

子どもの頃の**記憶**を思い出していると面白い・・・

なぜそんな記憶が残っているのかを考えるのも楽しいものです!!

これからも、思い出す度に書きたいと思います😊

2010年1月25日(月)



野越え丘越え ホット一息!?

サラリーマンを卒業して十数年・・・

幾つかのボランティアに参加し 楽しく日々を送っていますが、それはあ
たかも目の前に現れる野や丘を散策するような感じがしています。

野や丘がいろいろあるように、ボランティアもパソコン講習会あり、子どもとの昔あそびあり、趣味講習や催しのお手伝いあり・・・
スケジュールを決めるのも 目の前に現れた野や丘を自分ながらに探し、歩くスケジュールを決めるようなものです。

このように日々連続性の無い対象をこなしていると、一つ終わればホット一息！ もう一つ終わればそこでホット一息！・・・

このホット一息！が、その後の晩酌と相まって明日の糧になっているようです 

これからも**野越え丘越え** **ホット一息！**で楽しい日々を送りたいと思っています・・・

2010年2月2日(火)

子どもの頃の想い出／空はなぜ青い？

今日の青空を見て、フト思い出したのですが・・・

小学校の頃 2、3人の友達と運動場に寝転がって空を眺めていた時、
「空はどうして青く見えるんだろう!?」と議論したことを思い出しました・・・


その時の結論は思い出せませんが、校庭の端に立っていた忠魂碑の基礎石を枕に並んで秋空を眺めていたことは思い出します。

「空はどうして青く見えるんだろう!?」の答えの記憶がないので、たぶん解らなかったのだらうと思います。

こんな断片的な記憶は、脳味噌の何処に残っていて、どんな風に呼び起こすのだろう！？

今度は、このことが疑問になりました・・・

多分、インターネットで調べれば、少しは解ると思うのですが、何年か先に、こんなことを疑問に思ったということをお願い出さだろうか！？

「風が吹けば桶屋が儲かる・・・」式に、脳味噌の中では、記憶の糸が切れないで連鎖的に繋がっているのだろう・・・なお、「空はどうして青く見えるんだろう！？」の説明は、次のようなインターネットサイトに沢山書かれています。

http://association.kan-hakusan.jp/images/20060824_yam.pdf

子どもの頃、インターネットがなかったので、すぐ調べられなかったので、議論した状況だけが記憶に残っているのかも知れません。 解を見出

さないままにしておくのはまずいが、解がすぐ見付かれば後々に残る記憶は薄くなるようなので、解の在り場所をすぐ見付けるのではなく、自分で解を考え、それが間違っているかどうかをインターネットなどで確認することが大切なように思います。

2010年2月7日(日)



本は目次を読む！

先のこの「独り言」に、「解がすぐ見付かれば後々に残る記憶は薄くなる・・・」旨のことを書きましたが、これに似たことで学校時代の先輩から「本は目次を読め！」ということを教わりました。

本に書いてあることを 効率的に理解・記憶するには、**まず目次を読み、本文に何が書いてあるかを考え・想像する。**

その後で、本文を読む・・・。

その結果として、自分の想像したことと同じことが書いてあると、もう理解していることになり、もう覚えようとしなくてもよい。

逆に、自分の想像したことと異なることが書いてあると、自分の考えは違

っていたと理解し、違っていることに新鮮味を感じ覚えやすくなる！

「なるほど！」・・・と、できるだけこの方法を実践しているが、つい
つい考えるのが面倒くさくなり　すぐ本文のページを捲ってしまうことが
多い。

だから、本を読んでも　なかなか覚えられないのか・・・と反省しきりで
す。

もつともこの年になると、それが原因を言えないところが多々あります
が！

ただし、この手法は　小説などには向かないようです。

小説などは、自分の脳味噌を白紙にした所に　作者の意図を流し込んだほ
うがよさそうです・・・念のため！

2010年2月8日(月)

子どもの頃の思い出〜やって来る行商〜

昨夜、ラジオから聞こえて来た浪曲を耳にして思い出したのです・・・
子どもの頃、浪曲師が田舎の農村集落までやって来て、農家の居間で近所の人々を集めて興行？をし、終わるとその家に泊まり、翌日は次の村に行っていたことを・・・

浪曲の出前といったものでしょうか？

子どもの頃、田舎で経験したこのような出前的なものは、記憶の隅にも
沢山あります・・・想いつくままにあげてみると・・・

- ・リヤカーに駄菓子等を積んでやってきた駄菓子屋さん
- ・リヤカーに窯？を積んできたポン菓子屋さん
- ・鍋や器修理の鋳掛け屋さん

・ 桶の修理をする桶屋さん

・ 下駄の歯を取りかえる下駄屋さん

・ 魚を入れた籠を背負ってくる魚屋さん・・・これは今もあるかな？

・ 自転車に黒い荷物を積んだ富山の薬屋さん・・・

紙風船をよく貰った！

等々、いろんな行商が数軒の集落までやって来ていた。

子ども達はそれらを楽しみにし、鍋や桶、下駄の修理は終わるまで見ていたものです。

現在のようにTVもコンビニも無い時代には、このような行商の方々が持って来る話題が子どもにとって、一つの知識の源になっていたのだろうと思います。

懐かしく思い出すとともに、こんな時代に戻ってみたいような気がします。

2010年2月26日(金)

子ども達からの礼状

数年前からボランティアで、小学校1年生と昔あそびを楽しんでおり、今年も1月の下旬参加しました。

昔あそびの内容としては、コマ回しやケン玉、ゴム鉄砲、おはじきなど六種類くらいの遊びを、子ども達はそれぞれ十数分で順番に楽しんでいくの

です。

ボランティアはそれぞれのコーナーで2, 3人が昔を思い出し、子ども達に遊び方を教えながら、自分も童心に帰って楽しむのです。今年、僕はゴム鉄砲を担当しました。



それを忘れたところに、子ども達が一所懸命書いた札状が届きました・・・

先生が作られたであろう写真入りの「ゴム鉄砲名人さんへ」の表紙に、十八名がそれぞれ書いた札状が綴ってありました。

「ごむてつぱうのめいじんさんへ」で始まり、「はじめはあたらなかったけどあ

とからうてるようになりました。」「すぐくたのしかったです。ありがとうございました。」

うございました。」等など、各自思いのままの感想の礼状でした。これらの礼状を読みながら、改めて子ども達と楽しく過ごした一時を思い出した次第です。

翻って自分が子どもの頃、このような遊びは、大人に教えてもらったというより、子ども同士先輩に教えてもらい、次には後輩に教えたように思います。

大人は朝から晩まで田畑で働き、一方では兵隊に召集され、子どもに構っていられない時代だったのです。

最近の子ども達にはこのような、子ども同士の先輩から後輩へといった物事の伝承の場が少なくなつたように思われるのです。

まあ、世代を飛び越えたような先輩だが、このような機会を通して、楽しく子ども達が目を輝かせるような遊びを伝承していきたいと思っております。

そして、子ども達が自分の思いを表現できる機会にもしてほしいものです。

2010年3月21日(日)

「牡丹餅」作りもまた楽しい！

お彼岸に、牡丹餅とお萩はどこが違うのという話題もあり、子どもの頃を思い出し牡丹餅を自作しました・・・

子どもの頃というのは・・・

母が小豆を煮て**餡**を作り、大豆を煎って石臼で挽き**きな粉**を作り、もち米とうるち米を混ぜてご飯を炊きそれを搥子木で潰してその**餡**や**きな粉**をまぶして作っていたのです。

子どもの自分は、ご飯を搥子木で潰すのをやっていたように記憶している。

作り方はおぼろげながら記憶に残っていたが、材料の割合はあまり記憶に残っていなかった・・・最もそのあたりは母が分量を決めていたので仕方ない 

ただ、今はインターネットという強い味方があり、検索すると詳細に教えてもらえる・・・



ついでに胡麻味のものもインターネットを先生に作りました。

出来栄

えは、形と大きさの不揃いを除き上々であった・・・😊

みんな「美味しいおいしい！」と食べてくれた・・・

自分でも、買ってくるものより美味しいと感じた！

子どもの頃は、今のようにお菓子屋もスーパーもコンビニも無く、田畑から収穫した農作物を材料に、母を中心に作っていたのです。

子ども達は、ものを作るといふ楽しみもあり、よく手伝っていたものです。

幸いにその経験が、今の一時を楽しませてくれていると思うと、昔名人でなくても、これからいろんなも

のに挑戦し楽しまなくちゃ〜！！と思っっているところです。

2010年3月24日(水)

後期高齢者

新米の後期高齢者になりました！

「後期高齢者」と言われることに違和感を感じる方もおられるようだが、呼び方はどうであれ「後期高齢者」になりました！七十歳で古希・・・古希の祝いといえば、昔は七十年生きる人は希であったことから、長寿の祝いとされているようです。平均寿命は長くなったといえ、古希を祝って

もらって5年も経つと、高齢の後半になってもおかしくないのです。

七十五年間にはいろいろありました・・・

・幟を立てて出生兵士を送ったこと、

・真珠湾攻撃のニュースをラジオで聞いたこと、

・空襲警報のサイレンを聞いて学校から急ぎ帰宅したこと、

この時代も終戦の玉音放送を聞いて終わりました。

・新聞紙のような教科書を墨で黒く塗ったこと、

・校舎が間に合わなくて青空教室で勉強した中学時代、

その後はなんとなく今風とあまり変わらない学生生活を過ごしました。

・社会人になってからは、暑い夏冷房も無い事務所でランニング一枚になり図面を書き、工場内を行きつ戻りつしたこと、

単身赴任も経験しました。

・定年になり、すぐ田舎に帰省し両親のケアをしたこと。
そして今、インターネットなどでいろんな情報が渦巻いている中、マイペースでボランティアなどをしています。

とにかく、いつの間にか過ぎた七十五年間ですが、いろいろ有りました！



今朝、目が覚めると雨が降っていました。

例年になく寒く、各地で記録的な遅雪の様子がテレビで流れています。

庭の長く伸びた松の新芽も寒さに驚きの様子です。
しかし、直ぐ寒さも遠のき新芽も活力を取り戻してくれることでしょう！！

人の一生も、海原の波と同じように絶えず変化していくでしょう！
一時寒くても、必ず暖かい日も来るはずです。

これから、変化する世間の波間を楽しくサーフィンしたいものです…

2010年4月17日(土)



移ろい

この春先は寒暖が日替わりのようにやってきた・・・

日々の移ろいは荒波模様だったというのだろうか！？

と言いながらも、ソメイヨシノの満開から新芽の息吹、若葉への移行と、季節の移ろいは間違いないで進んでいる・・・

間もなくゴールデンウィークを迎え、そうするうちに梅雨に入り田植えが終わると夏を迎える・・・

季節の移ろいは、その時々には素敵な模様を眺めさせてくれる

翻って、人の移ろいはどうだろうか

季節の移ろいと同じようには行かないようだ・・・むしろ今年の春先の

日々の移ろいのようなのかもしれない！？

思いがけないよいこともあるが、時には打ちのめされることもある・・・
しかし、生まれてから死ぬまで、世の中の大きな移ろいの波に乗って生活しているのではないかと思う・・・

その波は、多少は自分の努力でコントロールできるところもあるが、やはり世の中の大波には逆らえないようだ・・・

であれば、大波に飲み込まれることなく、その波に身を委ね、一生の移ろいを自然の移ろいとともに楽しいものにしたものである・・・

まずは移りゆく季節を堪能することにしましょう



2010年4月27日(火)

脳味噌の補完

「聖徳太子は、一度に十人の話を聞き、各々に的確な答えを返した・・・」
ということをよく耳にした・・・

頭の切れが良くかつ記憶の良いこと、その結果物事を並行して的確に進めることができることの例えに言われることである。逆に、複数の人が同時に話しかけてきた時、自分は聖徳太子ではないヨ！・・・と、言い訳に使ったこともある。

知りたいことは山ほどあり、できれば同時進行で少しでも吸収したいと思っているが、それどころか、年を重ねるにつれ一つのことをフォローするのも困難になって来ている・・・

残念ながら「聖徳太子ではない！」と言いたくなる・・・サラリーマ

ン生活を卒業し、野次馬根性も手伝って、幾つかのボランティア活動に参加していると仕方なく異なる事象が**同時進行**となる。

どうすれば上手く進行できるかと考え込むことがしばしばあるが、なかなか名案はない・・・

脳味噌の動きが鈍くなり、ますます**同時進行**が難しくなっていくのに対処するには、脳味噌に代わる何かが必要である。

幸いなことに、現在は知りたいことのほとんどはインターネット検索で調べることができる。

しかし、複数検索すると前のものをすぐ忘れる・・・やはり**同時進行**は無理なのだ・・・それを補うために、メモをとるよう努めている。

ただ、メモも紙だと紙グズが増えるだけなので、タッチャナは白板を使っている。そしてどうしても必要



なことはパソコンに書き込んでいる。

まあ、他人が見れば何をやってんだろうと思うかもしれないが、自分にとって、少しは脳味噌の衰えを補っているように思っています。

2010年5月11日(火)

軒先テント

狭い我家では、梅雨入り前に 軒先にシートをテント代わりに張ることが恒例になっています。

これは、多少の雨が降っても趣味の木工をその下でやりたいと始めたの

ですが、今では梅雨の間の憩いの場にもなり、夏は日陰をも作ってくれるので重宝しています。

この下で、グラスを片手に目の前の緑の葉を濡らす小雨を眺めるのも気持ちいが安らぐ一時です・・・😊



人間の都合だけで自然を壊し、その影響で人類の生存すら危ぶむ声が聞こえてくる昨今ですが、なぜ自然と仲良くできないのだろうか！？・・・と思う一時でもあります。

確かに、自然の恵みを受けてわれわれの生活がなりたっていることは間違いないのです。

だからこそ自然と仲良くする必要があると思うのです。

必要以上に自然を壊すことなく、自然に感謝しながら生活したいもので
す・・・



2010年6月9日(水)

もうすぐクリスマス

数年前 切り絵を楽しんだことがあり、それを思い出し クリスマスに因んだ作品を取出してみた・・・

切り絵にしても、糸のこ細工にしても、季節に因んだものを作品にすることがよくあるが、1年間を廻るとなんだか作品作りも終わったような気持ちになってしまう・・・

ということは、野次馬根性が旺盛なのか？すぐ飛びつくが、いくつか作品を作るとすぐ飽きてしまう？・・・飽きるというよりも、別の方が面白くなってしまうのかも知れない・・・

十二年余りに始め、いろいろな作品などを盛り込んでいたホームページ「Chiaki's home」もうのとうろ更新していない！

時には整理したいと思うが、中身がガラクタ箱のようになっていて、なかなか手が付けられない有様になっている。

これも、数年前にブログという便利な手法に飛びついた結果といえる……この記事を書いたのを機会に、少し整理に取りかかりたいと思うが……その前に、自分の脳味噌を落ち着かせる必要があると思うが……！

聖なるクリスマスを静かに迎え、その雰囲気の中で少しは脳味噌を落ち着かせよう……と、考えているところですよ。



2010 年 12 月 3 日 (金)

